

2019年3月期 第1四半期 決算実績 概況資料

2018年7月31日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2019年3月期 第1四半期の主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2019年3月期 連結業績予想

P25

2019年3月期 第1四半期 決算実績

(金額単位：億円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	1,302	1,362	+60	+4.6%
営業利益	170	201	+31	+18.6%
償却前営業利益*	292	332	+40	+13.8%
経常利益	148	183	+35	+23.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	102	128	+26	+26.1%

*償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

ホテル業においてRevPARの上昇や食堂部門・MICEが堅調に推移したこと、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加のほか、ハワイ事業におけるホテルのRevPAR上昇、西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収

▶ 3ページ

■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

増収により増益

▶ 4・21・22ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+0.8% (定期+1.0%、定期外+0.7%)

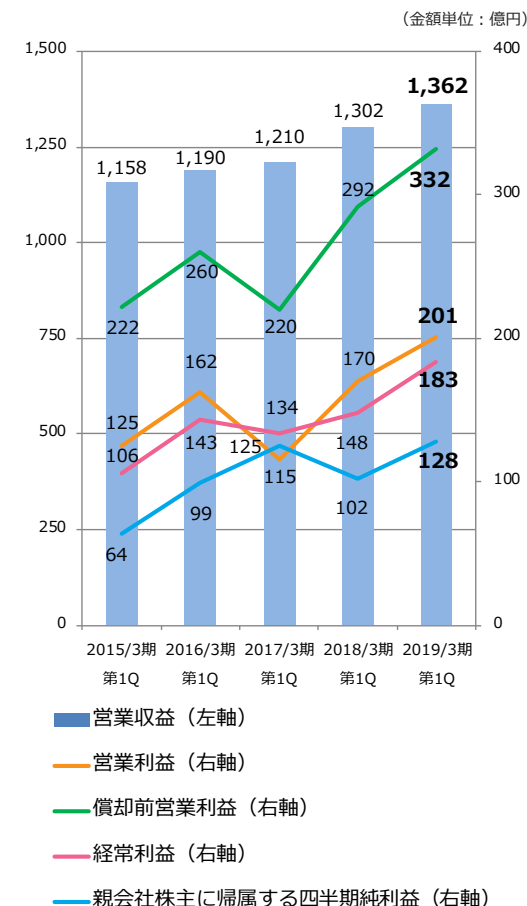
▶ 9ページ

<ホテル業>

RevPAR 11,685円 (前年同期比+8.9%)
シティ13,567円 (同+9.1%)、リゾート7,646円 (同+9.2%)

▶ 11ページ

業績の推移



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	401	404	+2	+0.7%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移やグランエミオ所沢 I 期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入、メットライフドームでの野球観客動員数の増加などにより定期・定期外ともに旅客運輸収入が増加したことや、バス業が好調に推移したことにより増収
ホテル・レジャー事業	482	527	+45	+9.4%	ホテル業におけるRevPARの上昇、食堂部門やMICEの堅調な推移、StayWell社の連結子会社化などにより増収
不動産事業	144	165	+21	+14.6%	東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加などにより増収
建設事業	235	202	△ 32	△ 13.8%	前期に大型の土木工事の竣工があったことに加え、民間住宅工事が減少したことなどにより減収
ハワイ事業	41	49	+8	+21.3%	ハプナビーチプリンスホテルにおいて改装による営業規模縮小の影響があったものの、プリンスワイキキ、マウナケアビーチホテルにおいて平均販売室料・客室稼働率ともに上昇したことより増収
その他	116	125	+9	+7.9%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、選手関連グッズの販売が好調に推移したことなどにより増収
調整額	△ 118	△ 113	+5	—	
連結数値	1,302	1,362	+60	+4.6%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	86	83	△ 3	△3.5%	鉄道業・バス業において運輸収入が増加したものの、電気動力費や燃料費、修繕費、一般管理費などの費用が増加したことにより減益
ホテル・レジャー事業	27	37	+10	+37.0%	今後の成長に資する費用（戦略的な人員の増加、新規事業関連の費用等）、水道光熱費、減価償却費などが増加したものの、増収により増益
不動産事業	36	55	+18	+50.9%	増収による増益
建設事業	6	5	△ 0	△10.1%	減収となったものの利益率の改善により前年同期比横ばい
ハワイ事業	△ 1	△ 0	+1	—	増収により損益が改善
その他	12	13	+1	+10.5%	増収による増益
調整額	2	5	+3	+159.8%	
連結数値	170	201	+31	+18.6%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	138	135	△ 2	△2.0%	
ホテル・レジャー事業	63	77	+13	+21.7%	
不動産事業	59	80	+21	+35.9%	
建設事業	7	6	△ 0	△7.8%	
ハワイ事業	3	5	+2	+90.0%	
その他	19	21	+1	+9.2%	
調整額	0	4	+3	+520.6%	
連結数値	292	332	+40	+13.8%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2019年3月期 第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2019年3月期 連結業績予想 P25

2019年3月期 第1四半期の主な取り組み

全体

- ・従業員の活躍支援を目的とし「西武グループ 企業内保育所」を開設予定（2018年秋開設予定）

都市交通・沿線事業

- ・多摩川線多磨駅橋上駅舎化及び自由通路整備を開始（2021年3月期完了予定）
- ・西武新宿駅のリニューアル工事を開始（2019年3月完了予定）
- ・大手民鉄（11社）で各社人材の相互受入スキーム「民鉄キャリアトレイン」を立ち上げ
- ・「西武フィットネス emifit 鷺ノ宮」開業（2018年4月7日）

ホテル・レジャー事業

- ・会員制ホテル事業「プリンス パケーション クラブ」軽井沢エリアに2施設開業予定（2019年7月開業予定）
- ・「StayWell Holdings Pty Ltd」が海外で展開するラグジュアリーブランド「The Prince AKATOKI」を創設
- ・新富良野プリンスホテルに作家・倉本聰氏が監修したレストラン「ル・ゴロワ フラノ」が開業（2018年5月28日）

不動産事業

- ・「ダイヤゲート池袋」の上棟式を実施（2019年春開業予定）

ハワイ事業

- ・プリンス ワイキキが世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」にて、「2018年エクセレンス認証」を受賞
- ・ハプナビーチプリンスホテルの全面改装完了。ウェスティンブランドに加盟し、ホテル名称を「ウェスティン ハプナ ビーチ リゾート」として営業開始（2018年6月26日）

その他

- ・株式会社西武ライオンズ40周年記念事業「メットライフドームエリアの改修計画」起工式を実施、着工
- ・箱根芦ノ湖で水陸両用バス「NINJABUS WATER SPIDER」運航開始（2018年4月27日）

2018年7月31日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.



西武グループ 企業内保育所
イメージ



西武新宿駅 イメージ



プリンス パケーション クラブ
ヴィア軽井沢浅間 外観イメージ



ウェスティン ハプナ ビーチ リゾート
客室

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2019年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2019年3月期 連結業績予想	P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	40,160	40,438	+277	+0.7%	
鉄道業	26,592	26,637	+45	+0.2%	雇用情勢の堅調な推移やグランエミオ所沢 I 期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入、メットライフドームでの野球観客動員数の増加などにより定期・定期外ともに旅客運輸収入が増加したことにより増収
バス業	6,462	6,611	+148	+2.3%	路線バスが好調に推移し増収
沿線レジャー業	5,252	5,325	+73	+1.4%	「西武秩父駅前温泉 祭の湯」が期初より寄与したことなどにより増収
その他	1,854	1,863	+9	+0.5%	
営業利益	8,668	8,366	△ 302	△ 3.5%	鉄道業・バス業において運輸収入が増加したものの、電気動力費や燃料費、修繕費、一般管理費などの費用が増加したことにより減益
償却前営業利益	13,874	13,599	△ 275	△ 2.0%	

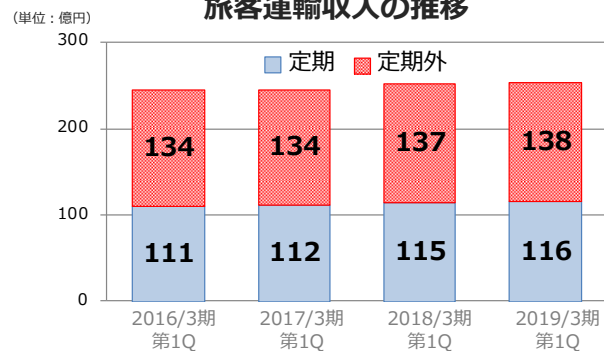
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前期 増減率	2018/3期 第1Q	対前期 増減率	2019/3期 第1Q	対前期 増減率
輸送人員	定期	103,822	+1.0%	106,948	+2.0%	108,022	+1.0%
	定期外	60,864	+0.6%	62,167	+1.5%	62,573	+0.7%
	計	164,686	+0.9%	169,116	+1.8%	170,596	+0.9%
旅客運輸 収入	定期	11,180	+1.0%	11,528	+2.1%	11,643	+1.0%
	定期外	13,415	+0.5%	13,792	+2.3%	13,888	+0.7%
	計	24,595	+0.7%	25,320	+2.2%	25,532	+0.8%
運輸雑収	1,018	996	△ 2.1%	996	△ 0.0%	995	△ 0.1%
収入合計	25,614	25,761	+0.6%	26,317	+2.2%	26,527	+0.8%

旅客運輸収入の推移



2018年7月31日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

グランエミオ所沢 I 期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入、メットライフドームでの野球観客動員数の増加などにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	48,210	52,723	+4,512	+9.4%	
ホテル業（シティ）	30,268	32,525	+2,257	+7.5%	RevPARの上昇、食堂部門やMICEの堅調な推移などにより増収
ホテル業（リゾート）	7,640	8,574	+934	+12.2%	前期に改装による営業休止をしていた事業所の収益寄与や、RevPARの上昇、宴会部門の好調な推移などにより増収
ゴルフ場業	3,471	3,598	+126	+3.6%	コンペの獲得や個人の集客などにより増収
その他	6,829	8,024	+1,195	+17.5%	StayWell社の連結子会社化などにより増収
営業利益	2,756	3,775	+1,018	+37.0%	今後の成長に資する費用（戦略的な人員の増加、新規事業関連の費用等）、水道光熱費、減価償却費などが増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	6,397	7,783	+1,386	+21.7%	

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

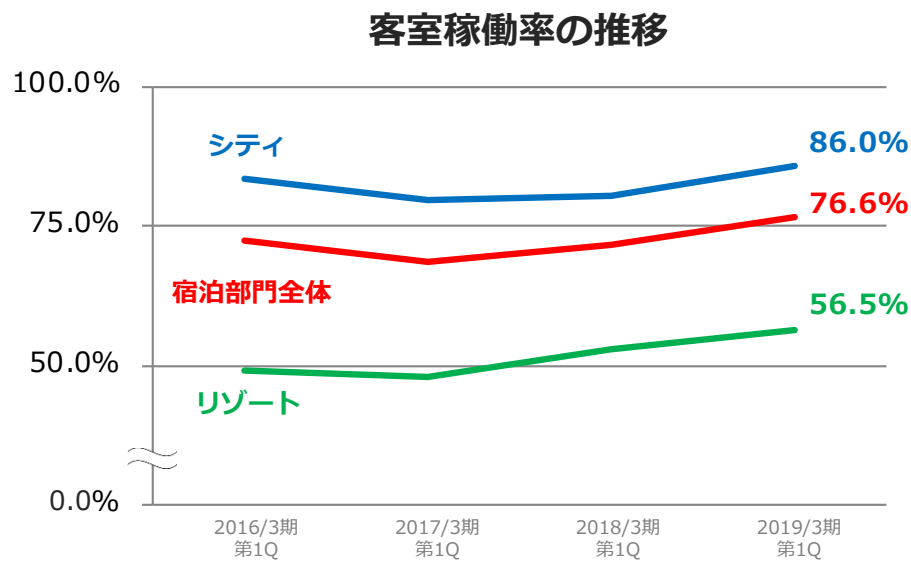
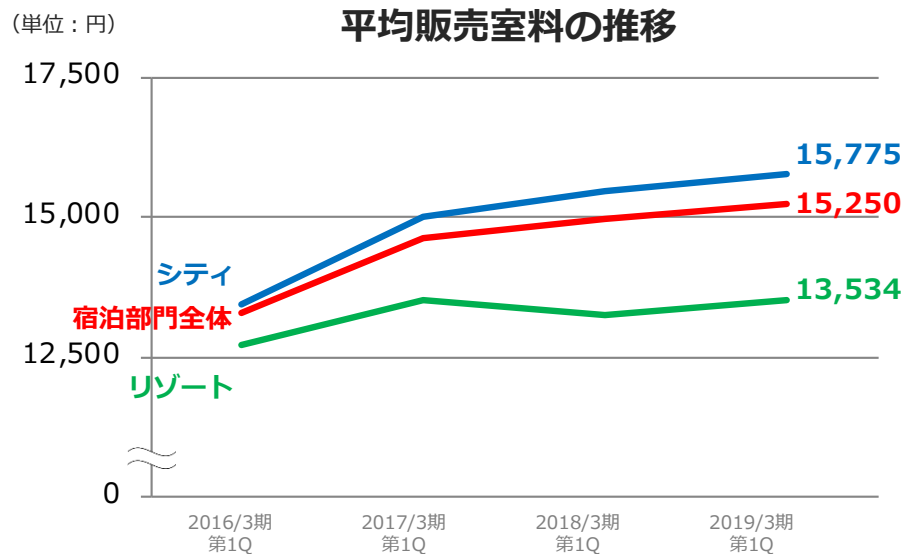
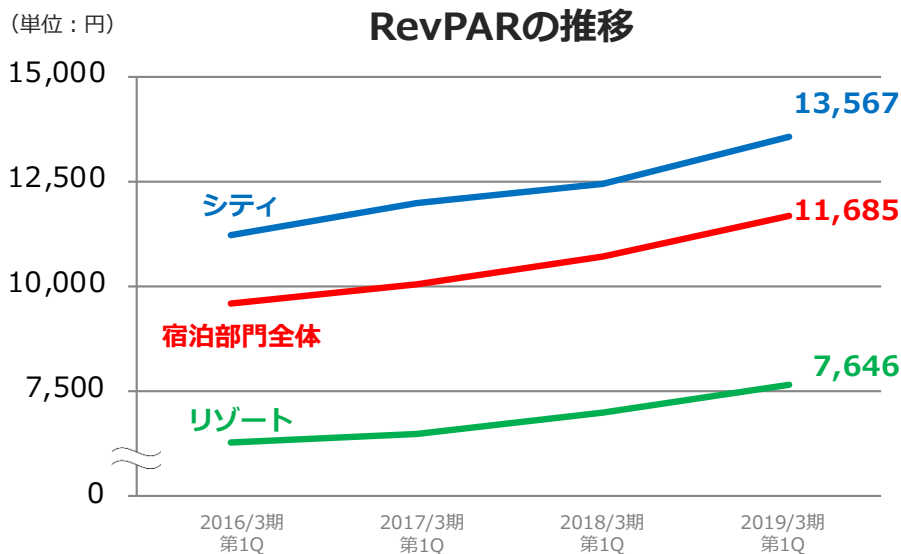
ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

(RevPAR・平均販売室料：円)

		2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前期 増減率	2018/3期 第1Q	対前期 増減率	2019/3期 第1Q	対前期 増減率
RevPAR	シティ	11,238	11,987	+6.7%	12,438	+3.8%	13,567	+9.1%
	高輪・品川エリア	11,928	13,112	+9.9%	12,821	△ 2.2%	13,805	+7.7%
	リゾート	6,259	6,463	+3.3%	7,002	+8.3%	7,646	+9.2%
	軽井沢エリア	12,511	12,708	+1.6%	13,932	+9.6%	13,713	△ 1.6%
	宿泊部門全体	9,594	10,029	+4.5%	10,727	+7.0%	11,685	+8.9%
平均販売室料	シティ	13,435	15,012	+11.7%	15,472	+3.1%	15,775	+2.0%
	高輪・品川エリア	13,668	15,375	+12.5%	15,377	+0.0%	15,393	+0.1%
	リゾート	12,730	13,529	+6.3%	13,259	△ 2.0%	13,534	+2.1%
	軽井沢エリア	22,128	23,565	+6.5%	23,472	△ 0.4%	22,412	△ 4.5%
	宿泊部門全体	13,276	14,645	+10.3%	14,959	+2.1%	15,250	+1.9%
客室稼働率	シティ	83.6%	79.9%	△ 3.8pt	80.4%	+0.5pt	86.0%	+5.6pt
	高輪・品川エリア	87.3%	85.3%	△ 2.0pt	83.4%	△ 1.9pt	89.7%	+6.3pt
	リゾート	49.2%	47.8%	△ 1.4pt	52.8%	+5.0pt	56.5%	+3.7pt
	軽井沢エリア	56.5%	53.9%	△ 2.6pt	59.4%	+5.4pt	61.2%	+1.8pt
	宿泊部門全体	72.3%	68.5%	△ 3.8pt	71.7%	+3.2pt	76.6%	+4.9pt

(注) 高輪・品川エリア：ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル
 軽井沢エリア：ザ・プリンス 軽井沢、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢、軽井沢プリンスホテル

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

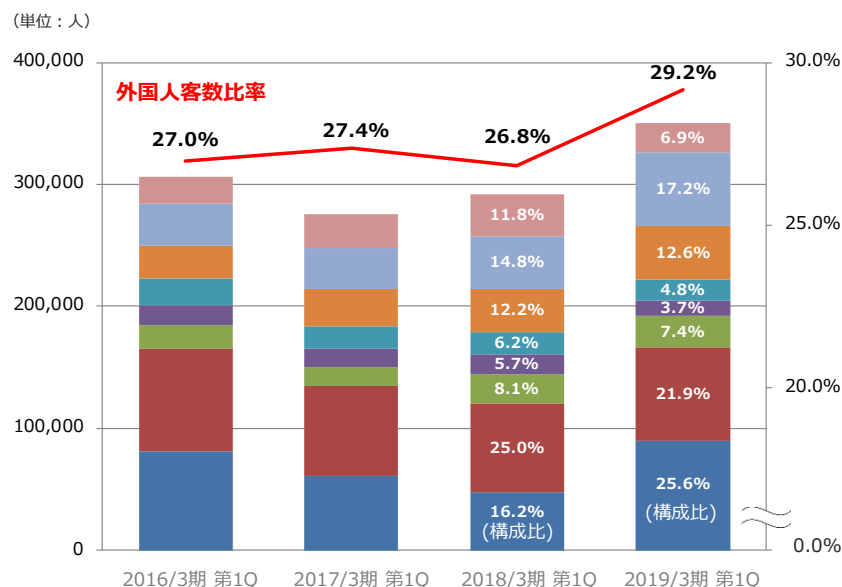


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

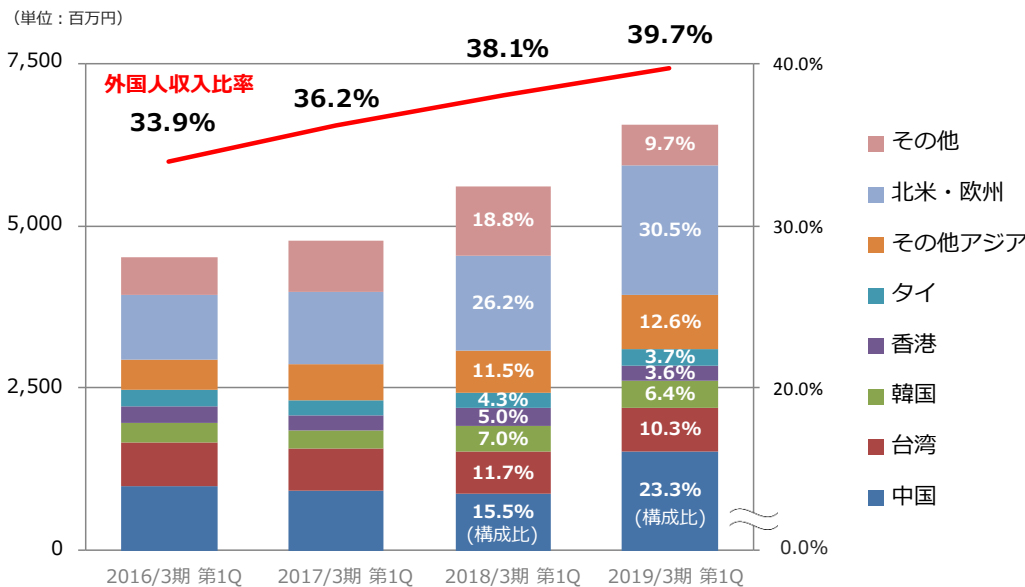
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	830,438	730,517	△ 99,921	797,001	+ 66,484	849,904	+ 52,903
	外国人客	306,599	275,152	△ 31,447	292,045	+ 16,893	350,001	+ 57,956
	計	1,137,037	1,005,669	△ 131,368	1,089,046	+ 83,377	1,199,905	+ 110,859
室料収入	外国人客	4,515	4,767	+ 251	5,603	+ 836	6,562	+ 959

外国人宿泊客数・比率

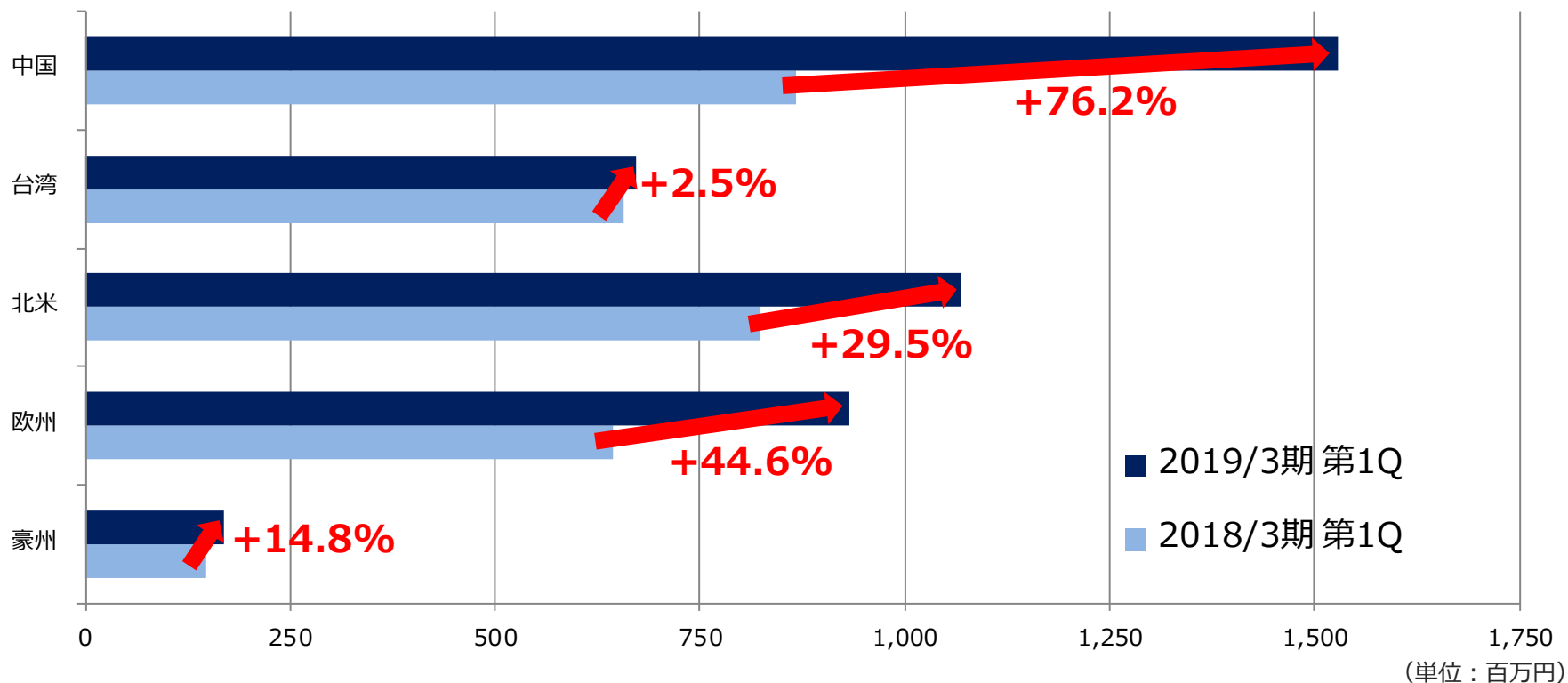


外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

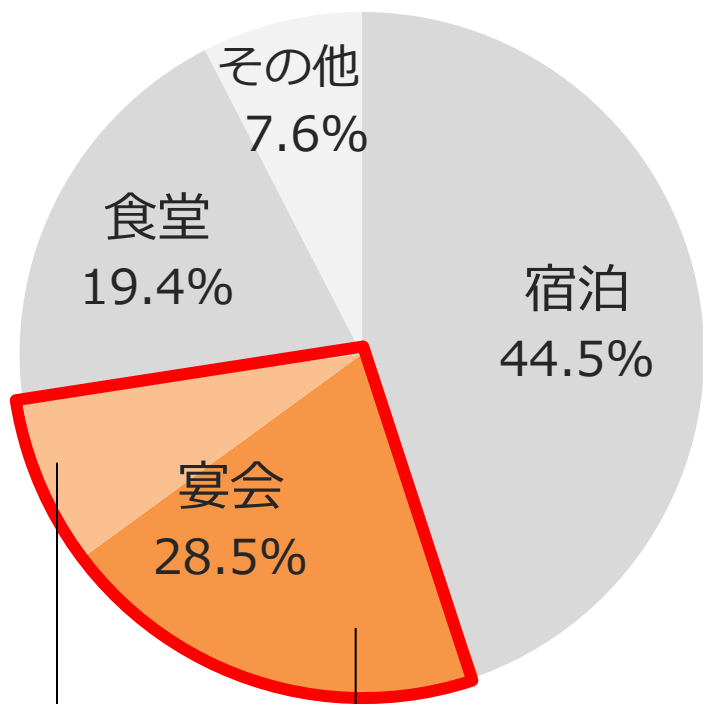
■ 主な国・地域の外国人室料収入



北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域の増加に加え、予約のベースとなる中国などのアジアマーケットも獲得

ホテル・レジャー事業 MICEの状況

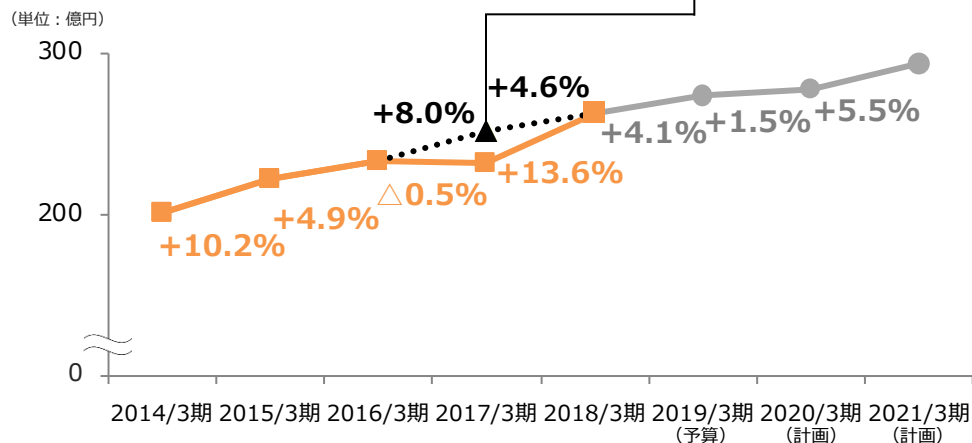
■ ホテル業の売上高構成比 (2019年3月期第1Q)



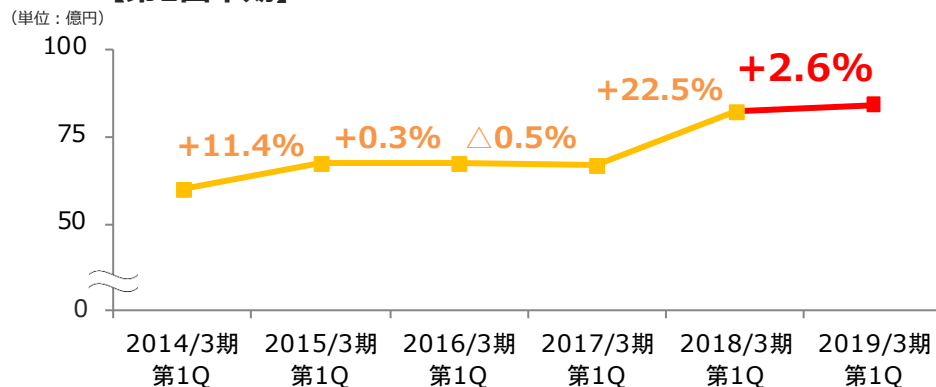
ブライダル・その他宴会 8.0% — **MICE 20.5%**

■ MICE売上高の推移

【通期】



【第1四半期】



MICE売上高は増加トレンドが継続。企業のミーティングやセミナー、インセンティブ（社内表彰）の需要を着実に取込み、第1四半期時点で計画を上回って進捗

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	14,432	16,541	+2,108	+14.6%	
不動産賃貸業	9,729	11,541	+1,812	+18.6%	東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加などにより増収
その他	4,702	4,999	+296	+6.3%	保険の販売代理手数料収入などにより増収
営業利益	3,666	5,531	+1,865	+50.9%	増収による増益
償却前営業利益	5,943	8,075	+2,131	+35.9%	

(面積：千㎡)

		2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	233	236	+3	238	+1	243	+5
の期末貸付面積	オフィス・住宅	62	83	+20	169	+86	173	+4
建物賃貸物件	商業施設	1.6%	2.0%	+0.4pt	0.7%	△ 1.3pt	1.3%	+0.6pt
の期末空室率	オフィス・住宅	7.1%	49.4%*	+42.3pt	1.5%	△ 47.9pt	1.1%	△ 0.4pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	23,535	20,288	△ 3,246	△ 13.8%	
建設業	17,491	13,707	△ 3,783	△ 21.6%	前期に大型の土木工事の竣工があったことに加え、民間住宅工事が減少したことなどにより減収
その他	6,043	6,580	+ 536	+ 8.9%	造園請負工事の増加などにより増収
営業利益	626	563	△ 63	△ 10.1%	減収となったものの利益率の改善により前年同期比横ばい
償却前営業利益	715	659	△ 55	△ 7.8%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期
期首繰越高	84,335	99,069	+ 14,733	89,755	△ 9,313	100,542	+ 10,787
期中受注高	13,339	20,264	+ 6,925	13,185	△ 7,079	17,655	+ 4,470
期末繰越高	84,215	102,574	+ 18,359	85,505	△ 17,069	104,580	+ 19,074

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	4,120	4,997	+877	+21.3%	ハプナビーチプリンスホテルにおいて改装による営業規模縮小の影響があったものの、プリンスワイキキ、マウナケアビーチホテルにおいて平均販売室料・客室稼働率ともに上昇したことより増収
営業利益	△ 191	△ 14	+177	-	増収により損益が改善
償却前営業利益	310	589	+279	+90.0%	

ホテルの営業指標

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期
RevPAR (円)	23,460	20,691	△ 2,769	20,014	△ 677	28,643	+8,629
RevPAR (米ドル)	195.82	188.10	△ 7.72	190.61	+2.51	249.07	+58.46
平均販売室料 (円)	30,905	29,167	△ 1,738	31,165	+1,998	38,849	+7,684
平均販売室料 (米ドル)	257.97	265.15	+7.18	296.81	+31.66	337.82	+41.01
客室稼働率	75.9%	71.0%	△ 4.9pt	64.2%	△ 6.8pt	73.7%	+9.5pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	11,673	12,597	+923	+7.9%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、選手関連グッズの販売が好調に推移したことなどにより増収
営業利益	1,266	1,399	+132	+10.5%	増収による増益
償却前営業利益	1,939	2,118	+178	+9.2%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2019年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2019年3月期 連結業績予想	P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業収益	130,244	136,259	+6,015	都市交通・沿線：+2億円、ホテル・レジャー：+45億円、 不動産：+21億円、建設：△32億円、ハワイ：+8億円、 その他：+9億円
営業利益	17,009	20,181	+3,172	都市交通・沿線：△3億円、ホテル・レジャー：+10億円、 不動産：+18億円、建設：△0億円、ハワイ：+1億円、 その他：+1億円
営業外収益	733	1,020	+286	
営業外費用	2,877	2,802	△75	
経常利益	14,865	18,399	+3,534	
特別利益	167	97	△70	
特別損失	617	866	+249	
税金等調整前四半期純利益	14,415	17,629	+3,214	
法人税等	4,082	4,602	+519	
四半期純利益	10,332	13,027	+2,694	
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	135	+22	
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,220	12,892	+2,672	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業利益	17,009	20,181	+3,172	
営業外収益	733	1,020	+286	
受取利息・配当金	440	462	+22	
バス路線運行維持費補助金	109	127	+17	
為替差益	3	219	+216	
その他営業外収益	179	210	+30	
営業外費用	2,877	2,802	△75	
支払利息	2,671	2,551	△120	
持分法による投資損失	46	45	△0	
その他営業外費用	159	205	+46	
経常利益	14,865	18,399	+3,534	
特別利益	167	97	△70	
固定資産売却益	9	13	+4	
工事負担金等受入額	43	6	△37	
補助金収入	114	59	△55	
その他特別利益	—	17	+17	
特別損失	617	866	+249	
固定資産売却損	76	5	△71	
固定資産除却損	404	189	△215	
工事負担金等圧縮額	21	6	△15	
固定資産圧縮損	100	44	△55	
投資有価証券評価損	—	618	+618	
その他特別損失	14	2	△12	
税金等調整前四半期純利益	14,415	17,629	+3,214	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2018/3期 期末	2019/3期 1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,669,223	1,652,598	△ 16,625	
流動資産	112,414	103,558	△ 8,856	現金及び預金 △7,464
固定資産	1,556,808	1,549,039	△ 7,768	有形・無形固定資産 △9,398 投資有価証券 +1,988
負債 合計	1,274,275	1,251,532	△ 22,742	
流動負債	328,782	310,150	△ 18,631	短期借入金 △8,818 支払手形及び買掛金 △4,857 その他 △15,876 (設備投資未払金等の減少) 前受金 +9,361
固定負債	945,493	941,381	△ 4,111	長期借入金 △3,442
純資産 合計	394,947	401,065	+6,117	利益剰余金 +9,273 その他有価証券評価差額金 +1,850 為替換算調整勘定 △4,101
有利子負債 期末残高	905,091	892,663	△ 12,428	
ネット有利子負債	875,147	870,183	△ 4,963	

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産(固定資産)の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。2018年3月期末の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2019年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2019年3月期 連結業績予想	P25

2019年3月期 連結業績予想 (期初予想と変更はございません)

2019年3月期 第2Q予想

(金額単位：億円)

	連結		都市交通・沿線事業		ホテル・レジャー事業		不動産事業		建設事業		ハワイ事業		その他		調整額	
		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期
営業収益	2,826	+ 6.1%	826	+ 1.1%	1,108	+ 9.1%	314	+ 6.2%	475	+ 0.3%	95	+ 20.2%	248	+ 3.7%	△ 240	-
営業利益	394	+ 4.1%	164	△ 5.5%	101	+ 13.9%	94	+ 23.2%	14	△ 40.2%	△ 3	-	21	△ 15.9%	3	-
償却前営業利益	655	+ 4.6%	269	△ 3.5%	181	+ 11.1%	143	+ 17.4%	16	△ 36.6%	9	+ 246.2%	36	△ 7.4%	1	-
経常利益	348	+ 4.9%														
親会社株主に帰属する 四半期純利益	262	+ 12.6%														

2019年3月期 通期予想

(金額単位：億円)

	連結		都市交通・沿線事業		ホテル・レジャー事業		不動産事業		建設事業		ハワイ事業		その他		調整額	
		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期
営業収益	5,699	+ 7.4%	1,633	+ 0.8%	2,218	+ 8.3%	673	+ 8.0%	1,095	+ 9.5%	211	+ 37.2%	396	+ 0.4%	△ 527	-
営業利益	670	+ 4.3%	260	△ 4.6%	199	+ 15.0%	170	+ 7.5%	46	△ 3.2%	0	-	0	△ 100.0%	△ 5	-
償却前営業利益	1,209	+ 4.6%	477	△ 2.8%	362	+ 10.6%	270	+ 7.7%	51	△ 1.0%	27	-	31	△ 21.7%	△ 9	-
経常利益	581	+ 4.7%														
親会社株主に帰属する 当期純利益	436	+ 1.6%														

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。